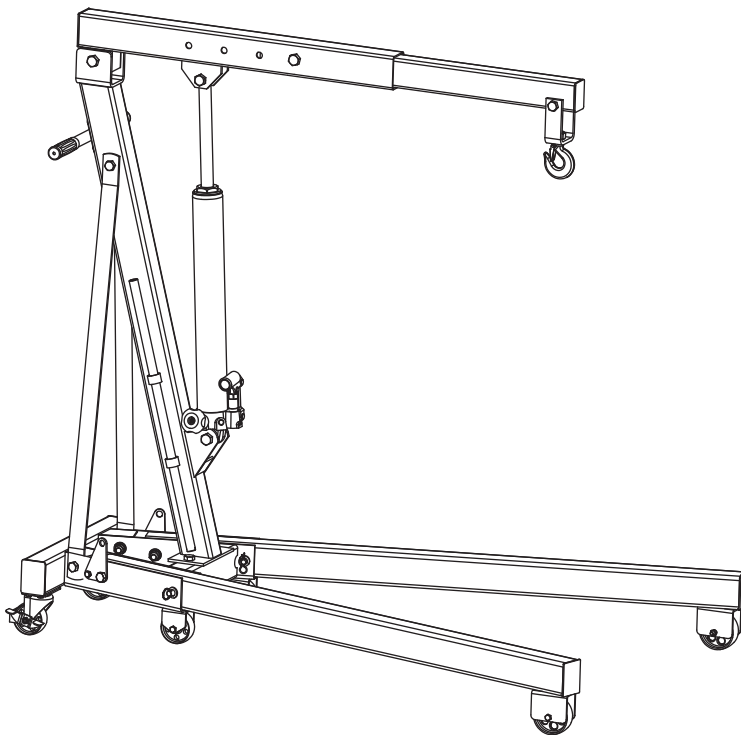


T31002CX-GS エンジンクレーン

取扱説明書

この度は、T31002CX-GS エンジンクレーンをお買い上げいただきありがとうございます。
必ずこの「取扱説明書」をよく読み理解した上で、本製品を安全にご使用ください。
また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



T31002CX-GS エンジンクレーンは車両のエンジン等を吊り上げるための工具です。
本来の目的以外での使用は絶対に使用しないでください。

免責事項について

- ・地震、雷、風害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して当社は一切責任を負いません。
- ・製品の使用または使用不能から生ずるいかなる他の損害（事業利益の損失、逸失利益、事業の中断等）に関して当社は一切責任を負いません。
- ・この「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない機器との組み合わせによる誤作動、故障等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。



安全に対する危険・警告・注意事項

作業者は必ず本製品を熟知した上で使用してください。本説明書の警告・注意事項をよく読み、正しく理解してから使用しないでください。怠った場合、死亡または重傷等の重大な事故の危険があります。



危険

下記内容をお守りください。
死亡または重傷を負う可能性があります。

重量物を吊り上げた状態での作業は、必ず車両および吊り上げ物が安全に保持できているか、また周囲の安全確認を怠らないでください。死亡または重傷の危険があります。



警告

下記内容をお守りください。
重傷または重大な事故の可能性がありま

- ・ 本製品を熟知した専任の自動車整備士以外は絶対に使用しないでください。
- ・ フックに掛けるものは、エンジンハンガー等の専用工具または吊り上げ物を確実に固定できるものを使用してください。使用中に外れたり破損して吊り上げ物が落下する恐れがあります。
- ・ 能力以上の荷重を掛けないでください。(ブーム長さにより変動します)
- ・ 傾斜地・平坦でない床・硬質でない床で使用しないでください。本製品が転倒したり吊り上げ物が落下する恐れがあります。
- ・ 吊り上げた状態では移動距離を最小限にし、速やかに作業台等に移してください。長時間吊り上げた状態にせず最小限の時間で脱着作業を行ってください。
- ・ エンジン等を吊り上げた状態で修理作業をしないでください。
- ・ エンジン脱着時は、車両(リフト)を昇降しないでください。
- ・ 安全メガネ・安全手袋・安全帽・作業服等の安全防具を着用し、十分に安全を確保してください。
- ・ 子供の手の届く場所に、放置・保管しないでください。
- ・ シリンダーの安全弁および部品には絶対に触らないでください。
- ・ 分解・改造等は絶対にしないでください。



注意

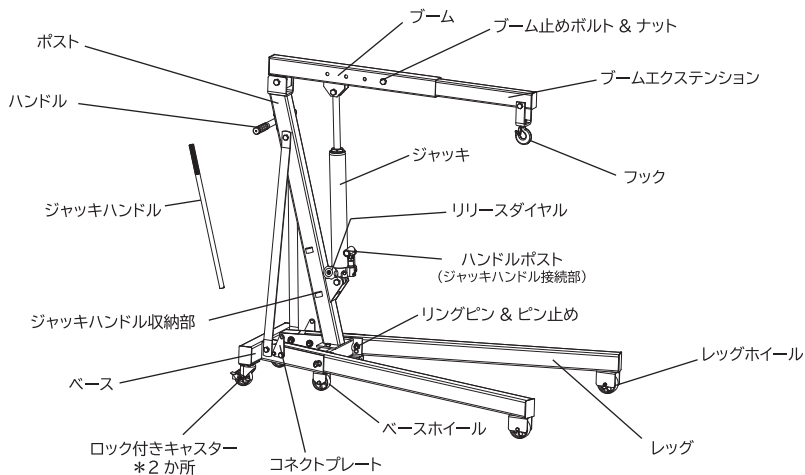
下記内容をお守りください。
負傷や物的損害の可能性がありま

- ・ 車両ごとのサービスマニュアルを参考に、適正な位置に確実に掛けてください。
- ・ クレーンの昇降は、必ず周りの安全を確認してください。また、下降時はリリースバルブをゆっくりと回し、吊り上げ物をゆっくりと下げてください。
- ・ 水気のある場所または屋外での作業・保管等はしないでください。
- ・ 格納時および展開時にはレッグにレッグピンを確実に挿入し、ピン止めを取り付けてください。
- ・ 格納時および展開時はベースホイールを少し持ち上げる必要があります。周囲の安全を確認し、2人以上で作業してください。
- ・ 気温が5～40℃の範囲で使用してください。

■ 日常点検・保管について

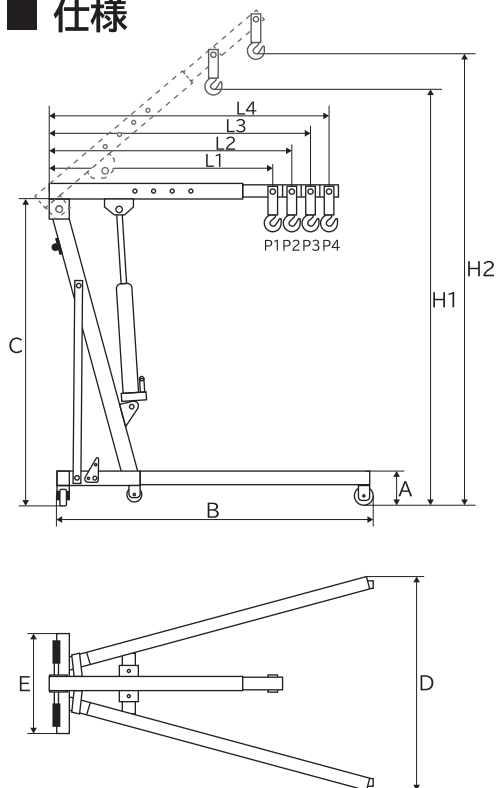
- ・ 各部ボルト・ナット・キャスターに緩みがないか定期的に確認し、増し締めをしてください。
- ・ 各可動部・摺動部を確認し、定期的に給油してください。
- ・ 収納時は、ジャッキを一番下げた状態で保管してください。未塗装部が腐食する可能性があります。
- ・ 水気の無い屋内に保管してください。
- ・ 点検時または作業時に作動油の漏れ・各部品の損傷・変形・ガタつき・異音等の異常がある場合は使用を中止してお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

■ 各部の名称



*注) 予告なくセット内容、デザイン等が変更になる場合があります。ご了承ください。

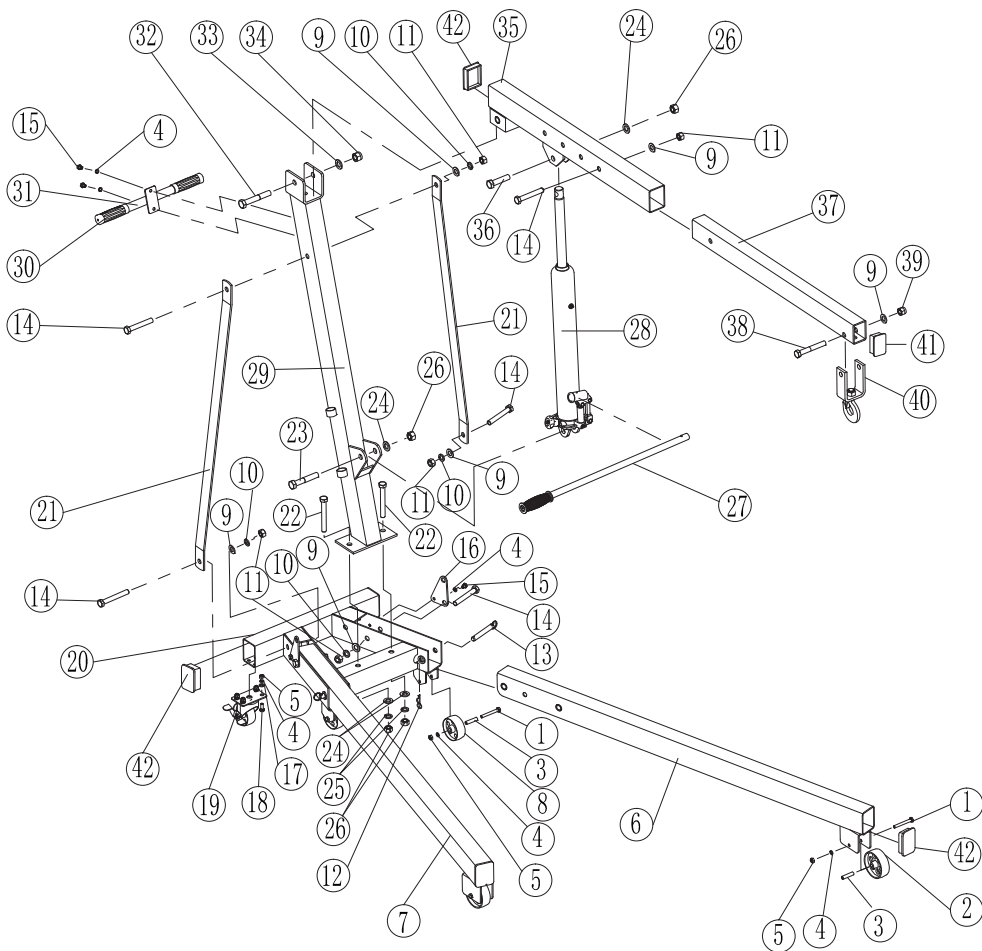
■ 仕様



クレーン能力(P1)	1t(1000kg)
クレーン能力(P2)	0.75t(750kg)
クレーン能力(P3)	0.5t(500kg)
クレーン能力(P4)	0.25t(250kg)
フック最大高さ(H1)	1795mm
フック最大高さ(H2)	1980mm
クレーン長さ(L1)	950mm
クレーン長さ(L2)	1040mm
クレーン長さ(L3)	1130mm
クレーン長さ(L4)	1220mm
フレーム高さ(A)	185mm
フレーム長さ(B)	1520mm
ポスト高さ(C)	1360mm
フレーム幅(D)	1010mm
ベース幅(E)	480mm
重量	約66kg
使用温度範囲	5～40℃

*注) ブームの設定位置によってクレーン能力(耐荷重)は変わります。

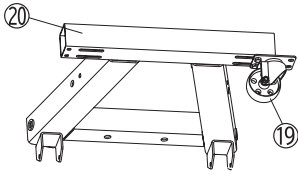
■ 部品展開図



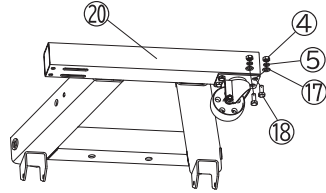
No.	部品名	個数	No.	部品名	個数	No.	部品名	個数
1	ボルト M8×65	4	15	ボルト M8×10	4	29	ポスト	1
2	フロントホイール	2	16	デッドプレート	2	30	ハンドルグリップ	2
3	ブッシュ	4	17	ワッシャー 8	8	31	ハンドル	1
4	スプリングワッシャー 8	16	18	ボルト M8×20	8	32	ボルト M18×110	1
5	ナット M8	12	19	センターキャスター 3"	2	33	スプリングワッシャー 18	1
6	レグ左	1	20	ベースアセンブリ	1	34	ナット M18	1
7	レグ右	1	21	サポート	2	35	ブーム	1
8	センターキャスター	2	22	ボルト M16×110	2	36	ボルト M16×80	1
9	ワッシャー 14	7	23	ボルト M16×90	1	37	ブームエクステンション	1
10	スプリングワッシャー 14	5	24	ワッシャー 16	4	38	ボルト M14×100	1
11	ナット M14	6	25	スプリングワッシャー 16	2	39	ナット M14	1
12	Rピン	2	26	ナット M16	4	40	フック	1
13	リングピン	2	27	ジャッキハンドル	1	41	ブロック	1
14	ボルト M14×95	6	28	ジャッキ	1	42	ブロック	5

■ 組み立て

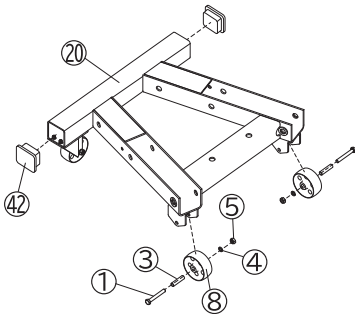
1. ②⑩ベースに⑪キャスター・⑧ホイールを、⑥⑦レグに②ホイールを取り付けます。



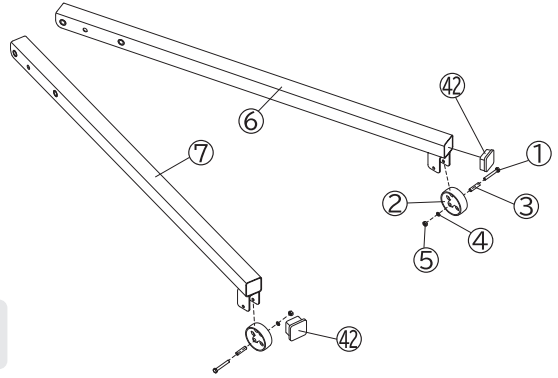
⚠ 内側にボルトを2本仮締めした後にキャスターを内側にスライドして4か所ボルトを固定します。



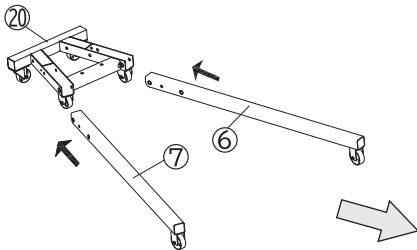
⚠ ⑬ボルトはキャスター側（下側）から入れてください。逆に装着するとボルトがキャスターに干渉します。



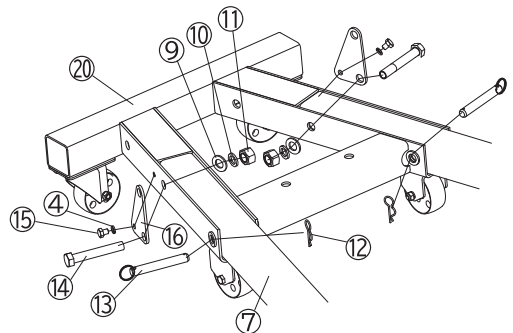
⚠ ⑫ブロックを②⑩ベースと⑥⑦レグの端に挿入します。軽く叩いて挿入してください。



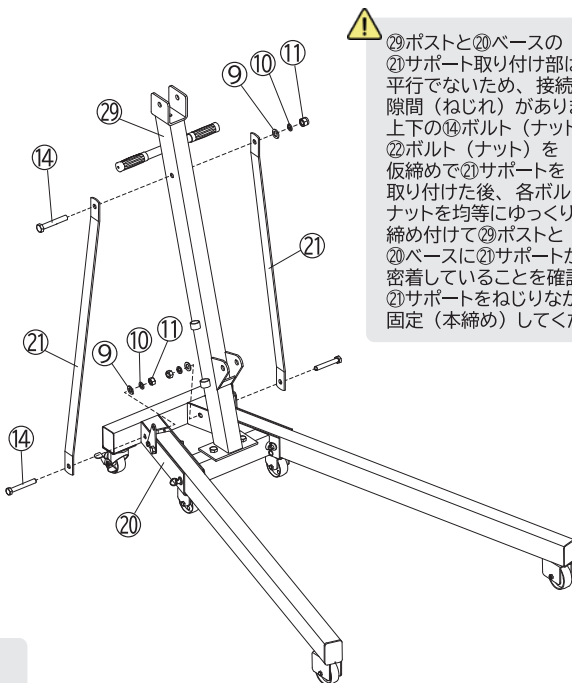
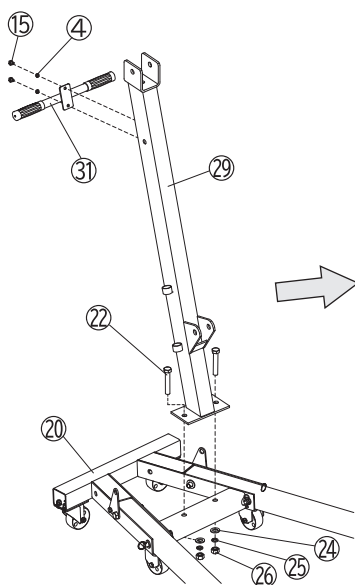
2. ②⑩ベースに⑥⑦レグを接続し、⑬デッドプレート・⑭リングピンを取り付けます。



⚠ ⑧ホイールは⑥⑦レグ展開時は接地しません。
⑭リングピンを挿入する時は②⑩ベースの⑧ホイール側を持ち上げて挿入してください。



3. ③①ハンドルを取り付けた②⑨ポストと②①サポートを②⑩ベースに取り付けます。

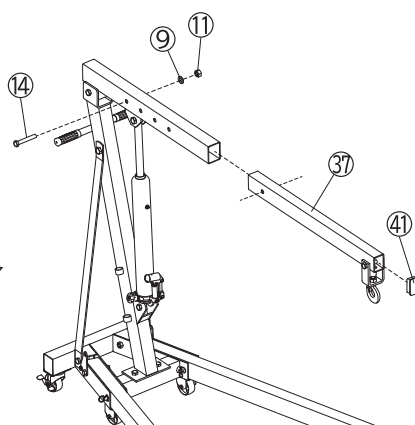
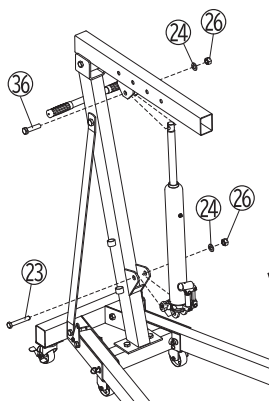
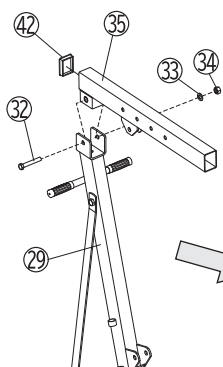


②⑨ポストと②⑩ベースの
②①サポート取り付け部は
平行でないため、接続時に
隙間（ねじれ）があります。
上下の④⑩ボルト（ナット）と
②②ボルト（ナット）を
仮締めて②①サポートを
取り付けした後、各ボルト・
ナットを均等にゆっくりと
締め付けて②⑨ポストと
②⑩ベースに②①サポートが
密着していることを確認して
②①サポートをねじりながら
固定（本締め）してください。



②②ボルト（ナット）は仮締めます。
②①サポート取付時に本締めます。

4. ②⑨ポストに③⑤ブーム・②④ジャッキ・③⑦ブームエクステンションを取り付けます。



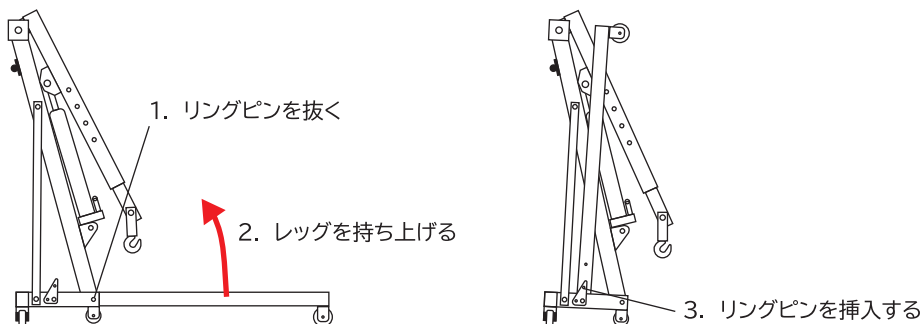
②②③③ボルト（ナット）は強く締め過ぎないでください。
可動部のため締めすぎると変形してひっかかり、
ブームがスムーズに動かなくなる場合があります。



ジャッキを漕いで③⑤ブームを水平にすると③⑦ブーム
エクステンションが取り付けやすくなります。

■ 格納について

本製品は、レッグをたたんで省スペースで格納することができます。リングピンをベースから外してレッグを持ち上げ、デッドプレートにレッグにリングピンを差し込んで R ピンで固定してください。また、使用時は逆の手順でレッグを展開してください。この時、レッグにリングピンが入りづらい場合、ベースを持ち上げながら差し込んで R ピンで固定してください。



■ ジャッキのエア抜きについて



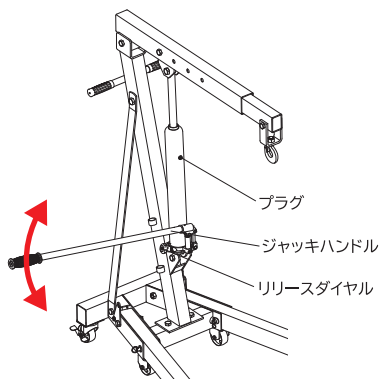
本製品の輸送時、油圧システム内にエアが混入している可能性があります。最初に使用する前に、下記手順でエア抜き作業を行ってください。

また、今後の使用においてエアが混入し、クレーンの昇降に異常が発生した場合も同様の手順でエア抜き作業を行ってください。

***エア抜き作業を実施する場合は、クレーンに何も掛けていない状態で行ってください。**

***オイル漏れがないことを確認してください。 *オイル漏れがある場合は修理依頼をしてください。**

1. リリースダイヤルを反時計回りに回し、クレーンを最下位にしてください。
2. リリースダイヤルを緩めたまま（下降状態）でジャッキハンドルを 5 ～ 10 回素早く漕いでください。（上昇時の操作）
3. 最下位の状態で、ジャッキ側面のプラグを緩め、ジャッキ内のエアを大気圧にした後プラグを締めます。
4. 上記 1 ～ 3 の手順を数セット繰り返してください。
5. クレーンの昇降（最伸、最縮）を数回行い、スムーズに作動しているか確認してください。昇降に違和感がある場合は再度エア抜き作業を行ってください。

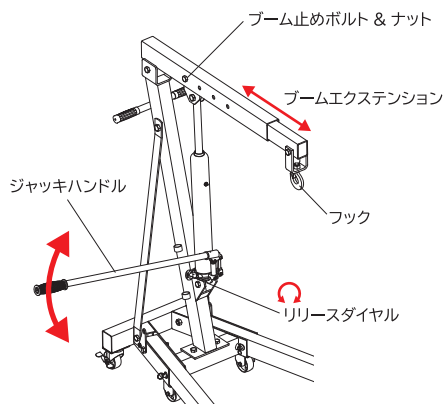


■ 基本操作

- ・ リリースダイヤルを回すと、シリンダーの下降バルブが開閉します。（右に回すと閉じ、左に回すと開きます。）
- ・ 下降バルブを閉じた状態で、ハンドルを上下に漕ぐとブームが上昇します。
- ・ 下降バルブを開けると、ブームが下降します。



- ・ 下降バルブを急に開けると急激に下がります。ゆっくりとダイヤルを緩め、ゆっくりとブームを下降してください。
- ・ リリースダイヤルには緩めすぎて外れないようにバネが内蔵されています。強引に緩めすぎないようにしてください。



■ 使用方法

1. 吊り上げ物に合わせ、ブームエクステンションの長さ調整を行い適正な作業位置に調整してください。
2. 吊り上げ物を、フックにチェーン等を使用して掛けてください。
3. 周囲の安全を確認し、吊り上げ物を作業に応じて昇降してください。



- ・ 吊り上げ物がしっかりとクレーンに接続されているか確認してください。
- ・ 吊り上げ物は、最大荷重を超えないでください。
- ・ 本製品は、吊り上げ物の昇降・移動のみで使用してください。吊るした状態で保持・放置または作業等はしないでください。

■ メンテナンスについて



メンテナンス時の注意

オイル交換および補充する場合は、周囲に火気のない風通しの良い場所で行ってください。

- ・ メンテナンスおよび修理はジャッキの構造を熟知した作業者が行ってください。
- ・ 頻繁に使用する場合は、約1年毎にジャッキオイルを交換することを推奨します。
- ・ シリンダーにオイル漏れがない場合は、注油の必要はありません。
- ・ ジャッキオイルを点検・補充・交換する場合は、シリンダーのプラグより行ってください。
*推奨ジャッキオイル：ISO VG15 相当
- ・ オイル漏れや、作動に異常がある場合はお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

≪ ジャッキオイルの補充および交換について ≫

- ・ ジャッキオイルの補充・交換時は、シリンダーをクレーンから取り外した状態で行ってください。
- ・ プラグを取り外し、ジャッキオイルの抜き取りまたは注油を行います。
*オイルを交換する場合は、抜いた量を測定して同じ量注入してください。
- ・ ジャッキオイルの適正量目安は、シリンダーを垂直に立てた状態で、プラグ穴下端と油面まで約0～10mmです。
*ある程度の空間が必要です。いっぱいまでオイルを入れると作動不良の原因になります。
- ・ 交換・補充作業が完了したら、エア抜きを行ってください。
- ・ 定期的にオイル量が減少する場合、オイル漏れの可能性があります。修理依頼をしてください。



株式会社レックス
〒501-0231岐阜県瑞穂市野白新田55-1

#2500122